

●● 校訓 (より正しく・より豊かに・よりたくましく) ●●

令和8年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

# 帯小の窓

開校 130 年の歴史と伝統の上に立つ これまでも これからも

NO. 10 令和8年6月25日 発行 校長 黒島 俊一

～ 新・学校教育目標 ～

夢をもち みんなで高め合い  
未来をひらく 帯小っ子

- おおきな心で
- びしっと学び
- ひろがる仲間と
- しっかり行う
- よい笑顔の
- うきうき帯小っ子

(令和8年4月1日制定)



## 開校130周年記念事業 ミュージカル「あらしのよるに」の鑑賞から

文科省の「舞台芸術等総合支援事業」の指定を受け、ミュージカル「あらしのよるに」が19日(金)本校体育館で上演されました。名古屋からはるばる帯広の地まで来てくださった劇団「俳優館」の舞台は、笑いあり、涙あり、演者のみなさんの伸びやかな歌声としなやかな切れのある体の動き、何よりも客席から大変近い距離での熱演に、子供たちの心はすっかり魅了され、上演時間があっという間に過ぎていった感じがします。20名近くにのぼるたくさんの保護者のみなさんにもお越し頂き、みなさんで楽しくミュージカルで織りなされる世界に、身を乗り出しながら存分に堪能しました。



5, 6 年生もプロの俳優さんたちと共演した、感動的な素晴らしいステージ。

この舞台は、今回の鑑賞だけではなく、先んじて6月初旬に5, 6 年生がワークショップとして歌やダンスレッスンに取り組んでからの上演となったもので、加えて本番には5, 6 年生の子供たちの代表12名が、5 年生が作った「花」をもった演者にもなって、俳優さん達と共演する仕立てとなった舞台でもあります。

「あらしのよるに」は、子供たちはもちろん、保護者のみなさんにも絵本やテレビなどを通して、長く慣れ親しまれてきている物語です。小学校の教科書にも掲載されたことのあるお話で、家の本棚にあるご家庭も少なくないと思われます。オオカミとヤギという種族を超えた心と心のふれあいと真の友情などがテーマで知られた話も、絵本の世界と舞台の世界では表現の手法や伝え方、伝わり方は全く違います。舞台と客席が渾然一体(こんぜんいったい)となった感動のステージに、感動の涙を流す子どもも少なくなく、大変質の高い素晴らしい舞台でもありました。

近年、学校ではなかなか全校規模で演劇鑑賞をする機会が少なくなってきましたが、こうした機会が、開校130周年の記念の年に恵まれたことは、きっと子供たちにとって良い思い出になったものと思います。鳴り止まぬ大きな拍手で心が温くなる瞬間でもありました。



スタッフ、キャストのみなさんの  
サインをいただきました

## 今年も強力な学校応援団が始動 コミュニティ・スクール(CS)運営協議会が 行われました

令和8年度CSメンバー

|                               |                             |   |
|-------------------------------|-----------------------------|---|
| 委員長                           | 佐藤 悦弘 氏 (元PTA 救命救急士)        |   |
| 副委員長                          | 小島 通只 氏 (現PTA 副会長)          | 新 |
| Co.                           | 畠山香穂里 氏 (元PTA役員 各種ボランティア代表) |   |
| Co.                           | 山口 一恵 氏 (元PTA役員 図書ボランティア)   | 新 |
| 委員                            | 松本奈津子 氏 (元PTA 会長 前CS 委員長)   |   |
| 委員                            | 菅原美奈子 氏 (児童保育センター主任指導員)     | 新 |
| 委員                            | 大玉 泰規 氏 (元PTA副会長 ミドリ写真館経営)  |   |
| 委員                            | 大島 健 氏 (元広陽小学校長 地域住民)       |   |
| 委員                            | 宇野 良子 氏 (放課後居場所「すきっぷ」理事長)   | 新 |
| 委員                            | 伊藤 樹京 氏 (本校卒業生「鶏の伊藤」経営)     | 新 |
| 委員                            | 黒島 俊一 (現帯広小学校長)             |   |
| ※ 以上委員一覧 新は新規 Co.はコーディネーターの略) |                             |   |



新委員長に佐藤悦弘氏が推挙され、若手メンバーとして本校卒業生である伊藤樹京氏を迎えるなど、全部で5人の新たなメンバーをお迎えし、令和8年度のコミュニティ・スクール運営協議会の活動がスタートしました。会議では、学校教育目標の改定から、今年度の学校経営方針の確認を経て、学校の取組の概要について説明し、「熟議」しました。

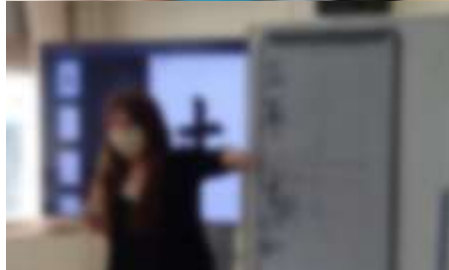
「熟議」では、新しい学校教育目標からの学校の動きや変化、たてわり活動の取組、体と心の健康アプリ「カラココ」(本校自作)の活用、専科指導がブロック内に広がりをもたせて取り組んでいることなど、多くの目で組織的に子供を育むことについて評価いただきました。中でも、現在の5年生が在籍9名と極端な少人数でもあることから、同じエリアの東小学校と連携した合同学習の取組には、後押しするたくさんの声が寄せられました。中学校進学を見据えた時、多人数とかわかることを今から準備していくことの大切さ、また不登校対策の成果など、人数が少なくなくてもよりよい取組へプラスに変えていく発想であることなどとしても評価いただきました。

今回は夜の会議で、ご都合のよい時の事前来校で授業参観を経ての会議となりました。今後とも、学校とCSがより近く、深い関係性と間柄で、ともに学校運営していくパートナーとして頼りにさせていただきます。

## 楽しい本物の学び 上下水道・書道・掃除・セラピー

この時期毎年恒例の出前講座は、4年上下水道教室(講師:市上下水道部)、1年お掃除教室(講師:ダスキン)、3年書道教室(CS事業 講師:書家・本校PTA 櫻田智美氏)に加え、今年は市民劇場から4年音楽セラピー(講師 音楽セラピー 樹音(じゅね)代表 村井孝子氏 ほか)の指導を受け、学びを深めました。

専門性の高い「本物」の指導は説得力があります。学びがいある時間と空間で、子供たちは、のめりこみながら学びを大いに深めてくれました。



写真右上から時計周りに 1年ダスキンお掃除教室、3年書道教室、4年音楽セラピー 4年上下水道教室、それぞれの学びの様子から

## お知らせとお誘い

- 1 「学校だいすき」6月30日(火)～7月6日(月)、帯広ケーブルテレビ(OCTV)で本校の運動会が放映。  
・ 最後まで熱いご声援と後押しをいただきました「本校 130 周年記念大運動会」がOCTV「学校だいすき」で放映されます。視聴環境にあるご家庭はぜひご覧ください。放映は8:30、13:30、21:00の1日3回です。
- 2 水泳学習が始まりました。  
・ 本日より啓西小学校拠点プールでの水泳学習がスタートしました。持ち物の準備等ありがとうございます。9月1日迄の全5回。お子さんの健康観察・連絡も含めて、ご協力よろしくお願い致します。なお、今年も夏休み中に学校から「啓西小プール行きバス」が運行されますのでご利用下さい。(7月29日、8月3日、6日、17日の全4回)